

登録規程 2026 年度改定の概要

1. 改定の背景・目的

- 登録制度の運用実態を踏まえ、チーム登録と個人登録（ライセンス制）の位置付けを明確化するため。
- 登録種別・年齢区分を整理し、分かりやすく公平な登録制度とするため。
- 登録管理の効率化および大会運営の円滑化を図るため。

2. 改定のポイント（要点）

(1) 登録制度の基本構造を整理

- チーム登録+個人登録（ライセンス）を公式試合出場の必須要件として明確化。
- 「年度登録」「公式試合」等の用語を定義し、規程の解釈を統一。

(2) 登録種別の再編

- 従来の男女別・種別混在型から、次の2層構造へ整理。
 - チーム種別：HJL／社会人／大学／高校／中学／小学／マスターズ
 - 個人区分：年齢区分（アンダー9（U9）、アンダー19（U19）、アンダー29（U29）、シニア）
- 個人登録用の特例的種別（国スポ・HJL等）は廃止し、制度を簡素化。
- ブロック協会、都道府県協会、傘下団体主催の大会、6人制・ホッケー5の大会に参加するチームは必ずしも登録されたチームでなくても良い。

(3) 個人ライセンス制の明確化

- 構成員は個人単位でJHAに登録（ライセンス）する制度とする。
- スタッフ（監督・コーチ・役員）は、1回の個人登録で複数チームでの活動を可とする。
- 選手については、同一年度内の複数チーム同時所属は禁止。

(4) 登録料体系の明確化

- チーム登録料および個人登録料を別表で明示。
- 個人登録料は年齢区分に応じた金額設定とし、U9は無料。

(5) 外国人選手の取扱整理

- 外国人選手の定義・大会取扱いを別記として独立整理。
- 社会情勢を踏まえ排他的な取り扱いの廃止。

3. 主な影響・留意点

- チーム・個人ともに、登録漏れが公式試合出場不可に直結するため、登録管理の徹底が必要。
- スタッフ兼務が制度上明確化され、現場運営の柔軟性が向上。
- 年齢区分制導入により、登録種別の判断が簡素化。

4. 施行日

- 2026年4月1日施行